

左近山中だより

令和2年 2月25日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 10

「道」

副校長 羽山 悟

春らしい日差しを日増しに感じられるようになりました。暖冬といわれながら、寒さが和らいできたことに少しほっとしています。さて、今年度もあと1か月余りになってきました。中学校最大の行事、卒業証書授与式が3月11日に控えています。卒業式に向けて各担当者が準備に取り組んでいます。

1月下旬、1年生は菅平高原へスキー教室に行つて来ました。暖冬で極寒というわけにはいかなかったのですが、スキーを行うにはとても良い気候でした。昨今、自然教室がスキー教室の学校も数少ないようです。しかしながら、雪国の景色や生活を実際に体験すると、自分も何かやらなければならないと大地に教えられます。実際に、スキー教室中、1日目2日目と時間がたつにつれ、生徒の自覚や意欲が向上し、宝物を見つけたような表情で積極的にスキー研修を受講していました。生徒にとって、「中学時代に、スキーに行った。」という体験は、本物に触れた実感などをこれからの人生の中で語ることができる一つになったと思っています。この行事で学んだものが、これからの成長にどう活かされるか楽しみでなりません。

中学時代はあっという間の3年間。卒業式に3年生が歌う「道」には、この左近山中学校で過ごした日々、卒業していく心情や未来への夢が映し出され綴られているかのように。歌詞の中にある「思い出が時間を止めた」は、思い出が濃ければ濃いほど今この一瞬の時間が尊く感じられること。「希望、夢、愛、話したい」は、みんなで刺激し合った時を大切にすること。「心、勇気、友、笑顔」は、この最後の時間、自然に溢れる感謝を笑顔で伝えること。きっと卒業式では成長した卒業生の素晴らしい歌声とともに「道」の歌詞に込められた思いを一緒に感じられることでしょう。

3年生の頼もしくふるまう姿が、後輩へ引き継がれる時が近づいています。バトン3年生のみなさん、君たちへの感謝と実績に敬意を込めてお祝いを述べます。「卒業おめでとうございます。」また、保護者の皆様におかれましては、今まで本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。あらためて、感謝申し上げますとともにお祝い申し上げます。「本当に、おめでとうございます。」



スキー教室



1 学年では、1 月 28 日～1 月 30 日の 3 日間、長野県の菅平高原でスキー教室を実施しました。例年に比べ気温も高く、とても過ごしやすい環境で実習を行うことができました。このスキー教室で成長した姿を 3 つお伝えします。

1. 一人ひとりがスキー技術の向上に励んだ

ほとんどの生徒が初めてのスキー体験でしたが、自分の技術にあったコースにてインストラクターさんの指導のもと、一生懸命取り組んでいました。1 日目はスキー用具の使い方の説明や基礎的な技能を学び、2 日目にはリフトに乗って長い距離に挑戦していました。なかなかうまくいかず苦戦している生徒もいましたが、友人同士で励ましあい、夢中に取り組んでいる姿が見られました。この 3 日間で、初めてのことが上手にできるようになるまで成長することができました。

2. 声をかけ合い役割を果たすことができた

室長・保健・美化という係分担のもと、しっかりと役割を果たしていました。室長は事前の班員決めに加え、当日の点呼やスケジュール管理をし、リーダーとして頑張りました。保健係は班員の健康観察や入浴の管理を丁寧に行い、みんなの健康面を整えていました。美化係は食事の準備や後片付け、部屋の環境整備をし、合宿生活を支えていました。多くの生徒がお互いに気づかい、時間を守って行動することができたのは素晴らしいです。

3. スキー教室実行委員の活躍

スキー教室実行委員は各クラスからの立候補者と代表委員を含めた 13 名でした。準備期間があまりない中ではありましたが、放課後の時間を活用し、持ち物の検討やしおりの作成、保護者会・学年集会準備、レクの企画・運営等、精一杯準備を進めていました。レクでは全体を盛り上げるために先頭に立って頑張る姿や、人前に立つことが苦手な生徒がみんなの前に立って自分の思いを言葉にする姿があり、スキー教室が成功するように励んでいました。

今回は一人ひとりの頑張る姿や諦めず懸命に取り組む姿が見られ、また大きな怪我や病気もなく過ごすことができた、とても良いスキー教室でした。

この行事で学んだことをこれからの学校生活に是非生かしてほしいと思います。

スキー教室担当 藤井 麻央



職場体験学習

2学年では、昨年11月から「これからの自分の生き方」を考えたり、「働くとはどんなことか」を話し合ったりと、長期にわたってキャリア学習に取り組んできました。1月29日（水）、1月30日（木）の2日間は、11月から取り組んできたキャリア学習で学んだことを活かし、25カ所の事業所に分かれて大人の社会を体験しました。「しっかりと人の話を聞く」「内容を理解して実行する」「自分で工夫しながら問題を解決する」など、普段の学校生活で大切にしていることが社会では信頼につながることを改めて学んだと思います。慣れない環境で苦勞したことも多かったと思いますが、体験後は全員がやり切った顔をしていました。

今回お世話になりました25カ所の事務所の皆様、生徒のために貴重なお時間を割いていただき、また、周到な準備の下で、大変丁寧なご指導をいただきありがとうございました。

職場体験学習担当 高橋 美帆

職場体験学習を終えて・・・生徒の感想から

- 体験して保育士の仕事への関心が高まり、子供にもっと興味をもてました。
- デザインの体験を通して、自分が住んでいる町が素敵なデザインであふれているなど、見方が変わりました。
- 体験を通して、普段から身の回りの整理整頓を大切にしようと思いました。

体験風景



旭歯ソピースター賞 受賞



この賞は、歯科保健活動において優れた成果を収めた学校に対して、歯科校医部会より贈られるものです。

今年度、本校の保健安全委員会での取組が評価され表彰されました。

保健安全委員は主に、1) 歯科検診で良い歯の表彰を受けた生徒へのインタビューとそのまとめ；2) 歯科衛生士からの講義をもとにしたクイズの出題と解説；3) むし歯予防とブラッシングのポイントの提案；を行いました。これらは、準備に数か月の時間をかける地道な活動でした。委員たちは勉強や部活動の合間を縫いながら、発表までよく頑張っており、大変さとともに達成感も味わえたと振り返っていました。参加する全校生徒の姿勢も素晴らしかったです。

今後も生徒一人ひとりの歯と口腔の健康保持・増進のため、生徒とともに活動していきます。
養護教諭 坂本 智世

バスケットボール部県大会出場！

2020年1月11日（土）、12日（日）に、神奈川県中学校バスケットボール新人大会が開催され、左近山中中学校バスケット部男女が出場しました。男女揃っての県大会出場は、左近山中バスケット部の歴史の中で、初めてのことです！

これまでの道のりを次に記します。

【男子】

前評判高かったが旭区大会で思わぬ敗戦。ミーティングをして士気を高め、ブロック大会1回戦を難なく勝利。続く2回戦で、他区のシード校との激戦を1点差で制す！流れに乗って3回戦までも勝利し、ブロックベスト4位が確定。県大会出場を決める。

【女子】

強豪揃いの旭区大会で揉まれ力をつけて、ブロック大会（県大会予選）1回戦で、他区のシード校を撃破！その勢いで2回戦も圧勝！3回戦では優勝校相手に敗れるも、敗者復活戦に進出。そこで他ブロックのベスト8チーム相手に勝利し、県大会出場を決める。

横浜市のバスケットボール部のチーム数は約170あり、その中で上位24チームが県大会に出場できます。男子は9位、女子は17位となり、県大会に出場できました。

県大会では男女ともに1回戦敗退となりましたが、それでもここまで勝ち上がったことを誇りに思います。これまで応援していただいた生徒のみなさん、保護者の皆さま、そして左近山中の先生方、ありがとうございました。今後も躍進して参りますので、引き続きご声援をお願いします。



バスケットボール部顧問 金子 裕史